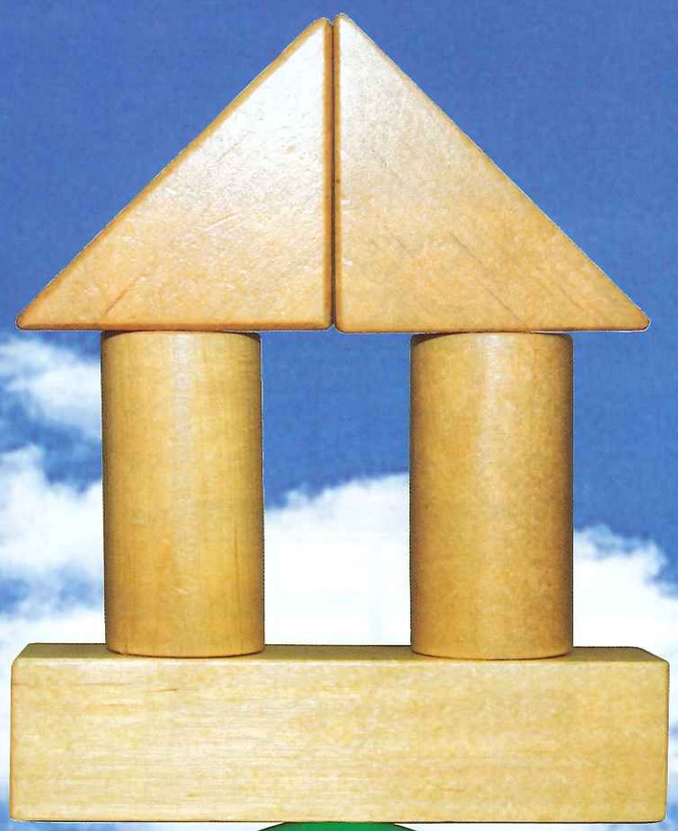
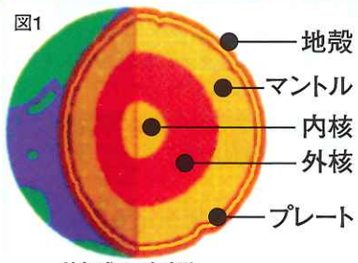
長崎県からの大切なお知らせです。

地震対策

万全ですか？



地震は、なぜおきるのでしょうか？



〈地球の内部〉

地球の中心にある核は、とても熱く、強いエネルギーを持っています。
その力で、外側にあるマントルと呼ばれる部分がゆっくりと動いています。
これをマントル対流といい、その上部にある地殻もゆっくりと動いています。これをプレートといいます。
日本には図2のように4つのプレートが交わり、押しあいへしあいしています。
この地殻変化が地震となります。このことが、日本が地震国といわれる所以で、どこで大地震が起きても不思議ではなく、本県も例外ではありません。
因みに、テレビなどの地震速報で流れる「マグニチュード」とは、地震のエネルギーの大きさを表わし、「震度」とは地震が起きたその場所がどれくらいのゆれがあったのかを表わす数値です。

日ごろの備え①

●建物の診断 ブロック塀の点検
●家具や家電の転倒防止
●避難場所を知ろう
●みんなで話し合おう
●救急薬品
●風呂水は捨てないで

日ごろの備え②

食糧品、飲み水は最低3日分!!

●缶詰、レトルト食品など。特にお米の用意は重要です。
●飲料水は1人1日3ℓを目安にし、ペットボトルが便利です。●乳幼児の粉ミルク、離乳食、おやつの備蓄は十分に。●持病があり、特別食が必要な人には「治療食」の用意を。

燃料の備え

●カセットコンロ、ガスボンベを備えましょう。固形燃料やバーナーもあると便利です。

生活に必要なもの

●懐中電灯●マッチ●ローソク
●手袋●ヘルメット●ロープ
●ちり紙●ラジオ●毛布●寝袋
●救急薬●下着●タオル●石鹸など

地震発生!!その時の行動

①身の安全を守る
テーブルや机の下に入りましょう。

②火の始末をする
大きな揺れが収まってから火の始末をしましょう 。

③出口の確保
玄関の扉や窓を開けて出口を確保しましょう。

④履物を履いて行動
ガラスの破片などによるケガを防ぐために、靴などを履いて行動しましょう 。

⑤あわてて外に出ない
急いで外へ避難する時は、家屋の倒壊の危険や、火事が大きくなった時です。

⑥正しい情報を聞く
テレビ・ラジオなどの情報をよく聞きましょう 。

⑦余震に備える
大地震の後には、余震があります 。

⑧隣近所と協力する
火事の時は、大声で知らせましょう 。